

会議録（1）

会議の名称	春日部市自治会連合会第2回正副会長会議
開催日	令和3年5月13日（木）
開催時間	午後2時開会／午後2時45分閉会
開催場所	春日部市役所 第2委員会室
議長（委員長・会長）の氏名	（会長）時田 美野吉
出席者（出席委員）の氏名 ・出席者数	並木 素生、野村 三男、伊澤 秀雄、小保方 敏美、鈴木 敏仁、石田 慎一（会長含め7名）
欠席者（欠席委員）の氏名 ・欠席者数	無
説明者の職・氏名	市民参加推進課 森田課長 砂田主幹
会議次第	別紙のとおり
配布資料	別紙のとおり
事務局職員の職・氏名	事務局長 高倉 会計 須田 市民生活部長 戸張 市民生活部次長 須田 市民参加推進課長 森田 市民参加推進担当主幹 砂田 市民参加推進担当主査 高畑 市民参加推進担当主任 坂東

会議録（2）

議事の経過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局 会 長	1. 開会 2. 会長あいさつ 3. 議題
事務局	（1）定例総会書面議決結果について ▶6議案とも賛成191、反対0、無効2（無記入）で可決。 ▶意見欄に5件の質問が寄せられた（別紙資料）。
議長	質問3の予算案記述、質問4の決算記述について回答するため、意見を伺います。
副会長	▶地元自治会での予算決算と比較して分かりにくい。流用額や不要額等の項目は無い。初めての方にも分かりやすく簡略化したら良い。
副会長	▶行政の予算書は決算確定前の編成であるから比較も前年度予算にならざるを得ないし、前年の予算に対してどうであるかも載せておかないとならない。片方が決算であると、それはそれで分かりにくいので、止むを得ない。決算は、どこから流用したかはともかく、どれだけの額を使ったかが判ればよいので必要のないものは載せなくとも良いのではないか。補正が入ってくるとなおさら複雑になる。
副会長	▶地元自治会の予算書では、予算と決算を比較している。前年度予算との比較はしていない。
副会長	▶行政では5月31日前では前年度の支出額が確定していない。
副会長	▶地元自治会では支出は3月15日までとして年度内に決算を確定できるようにしていて、この上で新年度予算と比較している。
副会長	▶予算同士で比べても自治会では意味が無い。予算との比較は役所の感覚だと思う。民間と行政とは違う。 予算の前年度比較はやむを得ないが、流用額等は無くとも良い。
事務局	▶行政では比較の対象を重視している予算としていて、今年度はどういったところに力を入れるかを表しています。その点は民間との違いであると思います。
副会長	▶自治会は民間であるから、役所の方式を持ち込まれると分かりにくくなるのではないか。
副会長	▶決算書も同様ではないか。不要なものは消していったらよいと思います。
副会長	▶質問者の考えも、行政の方式も理解できる。だが、一般的には昨年度実績があって、今年度はどうするかと考える。予算同士で比べても意味をなさない。
副会長	▶何年も自治会長をしている人なら分かるが、毎年交代する自治会も増えてきている。こういう方々や一般の方々には分からないかもしれない。やはり、昨年実績がこうであったから、今年はどうするというのが一般的。

事務局	▶何年か前の総会では、前年予算に比較して増減があるがどのような事業がなされるか等の質問も寄せられるなど、予算内容を見てもらえていると思いました。不要額は、予算に対しての執行残額、流用額は項目に不足額が生じたときに、どの項目から予算を持ってきたかを明確にするものです。意見により改善していきます。
議長	▶前年度予算に対して今年度どのような予算を組んだかが示されるので、予算書は現状のままで良いと思う。補正額の発生はどのような時に起こるのか。
事務局	▶臨時総会を以て年度途中で新たな予算案を承認した場合に、増減を補正額として表します。これまでのところ事例はありません。
副会長	▶事例が無ければ削除しても良いのではないかと。また、流用額については、予算書に項目間の流用を認める記述を盛り込めばとも思うが、大きな額の予算であるから、どこからどこへ流用したかは流用額が示されないと判らないので、現状のままである必要もある。
副会長	▶予算書では、前年度と前年度実績をカッコ書きで盛り込んでおけば良いのではないかと。一般・行政の考え方を満たせる。
副会長	▶例えば、昨年度予算が1千万円で、その決算が3百万円でした。そして、今年度予算が、また、1千万円ですということでは、予算書としてどうなのかということになる。決算額が見えないということはこのようなことだと思えます。
議長	▶税金を使う行政の予算書は皆さんに見ていただき説明しやすいような形になっている。民間では、会費を預かった方々が理解してくれる形であれば良い。その辺の違いから難しいこともやらざるを得ないものとなっていると思う。簡単にしてしまい過ぎても事務局の説明がしにくいものになる。
事務局	▶見た目は分かりやすくなるが、質問があった際には資料として個所を示した説明がしにくくはなりません。現状であれば、予算の動きは示しやすい。
事務局	▶予算を補正するというのは役所的ではありますが。予算が総会で決定され、この配分を変えることは本来総会を開催して諮るものとなり、補正額が生じます。流用は予算項目の中での配分の動きで臨時総開催は不要ですが、その内容を明確にしておくために流用額の表示をしているものと捉えています。決算書では、予算額、決算額、不要額があれば、この流用については備考欄に説明がなされていけば足りるのではないかと思ひ、連合会での判断で良いと思ひます。
議長	▶質問3については従来どおり、質問4については分かりやすく改善していくということにしたいと思ひます。 (出席者、承認)
事務局	(2) 審議会委員等の選出について ▶高齢者虐待防止・見守り等支援ネットワーク連絡会議の委員については、現任の小保方副会長を再度推薦。

事務局	<p>4. 報告</p> <p>(1) 単位自治会から事務局への相談について</p> <p>▶外国籍住民の方のゴミ出しに問題があるとの相談があった。自治会活動の手引、リサイクル推進課配布の数か国語の資料を活用ください。</p> <p>(2) 新型コロナウイルスについて</p> <p>▶市ホームページに公開されている4月24日現在の情報を紹介。</p> <p>(3) 上川町会の解散後の対応について</p> <p>▶4月25日の上川町会決算報告会に事務局（職員）が出向き、近隣自治会への編入説明会を開催。現在16世帯が編入希望届を提出している。今後も希望者を受け付け近隣自治会へ編入相談を行う。</p> <p>閉会</p>
-----	---